

**移動式不活性ガス消火設備
(二酸化炭素)
YCC - 90型**

ヤマトプロテック株式会社

本仕様書は、移動式不活性ガス消火設備（二酸化炭素）について規定します。

1. 対象物名称

2. 同上所在地

3. 概要

防護区画内の火災発生後、直近の移動式不活性ガス消火設備（二酸化炭素）を手動により操作し、二酸化炭素を放出し消火させるものです。

4. 消火設備

(1) 型式

移動式不活性ガス消火設備（二酸化炭素）

YCC-90型

型式認定番号 C-010号（財・日本消防設備安全センター認定）

(2) 設計準拠法規及び規格

（イ）消防法施行令、施行規則、各都市の条例によります。

（ロ）高圧ガス保安法、日本工業規格（JIS）

(3) 二酸化炭素消火薬剂量

1基に対して二酸化炭素90kg（68L／45kg入容器2本セット）

(4) 基数

消防法により設置基数は、防護対象の各部分からの水平距離が15m以内となるよう

1基ずつ分散設置します。

階	室名	基数
---	----	----

(5) 配置

添付図面の通りです。

移動式不活性ガス消火設備（二酸化炭素） YCC-90型

1. 目的

本消火設備は、屋内・屋外駐車場、自動車整備工場、飛行機格納庫、飛行機整備工場、電気室等、その他油・電気火災を対象とする場所に設置し、これらの対象物を有効に防護するものです。

2. 構成

本設備は、二酸化炭素貯蔵容器・ホース・ノズル等から構成されており、2本の二酸化炭素貯蔵容器に充填された二酸化炭素消火剤をホース先端のノズルより放射するものです。

概要	〔BOX無し〕	〔BOX付〕
全高	1,775mm	1,910mm
最大巾	660mm	640mm
奥行	400mm	410mm
総質量	約300kg	約350kg

BOXには前面扉上部に表示灯を標準仕様として取り付けています。

二酸化炭素貯蔵容器（1本の仕様）

全高	約 1,620mm
外径	267mm
内容積	68L
充填量	二酸化炭素 JIS K 1106-1990 2種 45kg
常用圧力値(20℃)	5.9MPa
耐圧試験圧力値	24.5MPa
安全弁	作動範囲 17.7～23.5MPa
総質量	約 125kg

上記仕様の貯蔵容器を2本設置し、一作動により2基の容器弁が開放されます。

- ② 配管用安全装置 CL150型 作動設定圧力 14.7MPa

集合管に設けています。

ホース架

(1) ホース架

ホース架は、20mのホースを掛けるようになっています。

(2) ホース及びノズル

ホース	長さ	20m	内径	12.7mm
			外径	20.7mm
ノズル	口径	3.6mm × 8個	開閉式レバー	

(3) ホーン

ホーンは鉄製で、ホーン根元に木製握りを設けています。

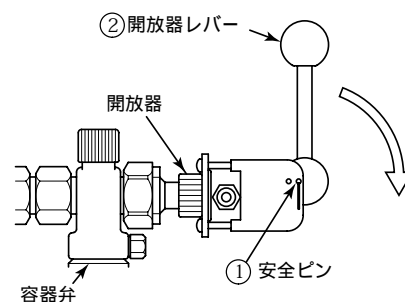
3. 放射性能

ホース先端に取り付けられたノズルにより放射するもので、次の性能を有しています。

放射量	64 kg/min
有効放射時間	約65秒
放射距離	約2～5m

4. 設置上の注意事項

- (1) レバー式開放器に安全ピンが取り付けられているか確認して下さい。
- (2) ノズル開閉弁が「閉」の位置にあるか確認して下さい。



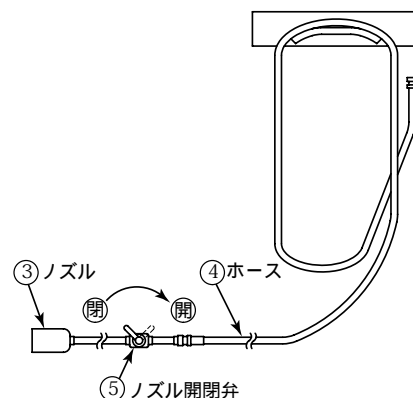
5. 使用方法

(1) 貯蔵容器の開放

- [1] 容器弁に取付けられたレバー式開放器の安全ピンを引き抜く。
- [2] 開放器レバーを押し下げる。

(2) ノズルの操作

- [1] ノズルを取り出す。
- [2] ホースを引き出す。
- [3] ノズル開閉弁を全開にし、火の根元を掃くように、手前より消火する。



6. 使用後の処置

- (1) 容器内の残存二酸化炭素消火剤をすべて放出して下さい。
- (2) 二酸化炭素消火剤が充填された容器と取り替えて下さい。
設置後は4.の注意事項を確認して下さい。
(二酸化炭素消火剤の再充填は当社に御連絡下さい。)
- (3) AG型開放器及びAGL型レバー式開放器の使用回数は5回が限度です。
(5回使用した場合は新品と取り替えて下さい。)

7. 特長

- (1) 二酸化炭素は安定したガスで、油類・金属・電気絶縁物などに化学変化しません。
- (2) 二酸化炭素は貯蔵中の変質がなく、半永久的に保存できます。
- (3) 消火後の汚損がありません。